

教材データについて
ダウンロードデータについて
1章 BIM の概要と Revit の基本操作
【1-1】 BIM とは (教材データ:なし)2
【1-2】 建設事業の流れ (教材データ:なし)3
【1-3】Revit の作成の流れ (教材データ:なし)3
【1-4】 3DCAD(Revit)画面と基本操作 (教材データ:なし)4
【1-4-1】基本操作の方法
【1-4-2】 基本操作の方法 (教材データ:なし)6
2章 基本設計の操作
【2-1】 作図準備から基本設定
【2-1-1】 テンプレートの説明 (教材データ:なし)8
【2-1-2】 レベルの作成 (教材データ:なし(前回の続き))3
【2-1-3】 2 次元図面を読み込み(dwg を取り込む)教材データ:なし(前回の続き)
【2-1-4】 通り芯 ※教材データ:なし(前回の続き)16
【2-2】1 階間取りの作成
【2-2-1】外壁の作成 (教材データ:2-2-1.rvt)23
【2-2-2】床の作成 教材データ:2-2-2.rvt32
【2-2-3】間仕切壁の作成 (教材データ:2-2-3.rvt)43
【2-2-4】建具の挿入・配置 (教材データ:2-2-4.rvt)48
【2-2-5】天井の作成 (教材データ:2-2-5.rvt)55
【2-2-6】間取りの複製 (教材データ:2-2-6.rv†)57
【2-2-7】間取りの編集 (教材データ:2-2-7.rvt)64
【2-2-8】間取りの複製 (教材データ:2-2-8.rvt)80
【2-2-9】外廊下の作成 (教材データ:2-2-9.rvt)93
【2-2-10】ベランダの作成 (教材データ:2-2-10.rvt)96

【2-3】上階、階段部分の作成	
【2-3-1】上階の作成 (教材データ:2-3-1.rvt)	
【2-3-2】階段の作成 (教材データ:2-3-2.rvt)	115
【2-3-3】屋根の作成 (教材データ:2-3-3.rvt)	129
3章 図面作成機能	132
【3-1】 1 階平面図	132
【3-1-1】屋根の作成 (教材データ:3-1-1.rvt)	132
【3-1-2】家具や設備などの部品を挿入 (教材データ:なし 前回の続き)	135
【3-1-3】平面図の作成 (教材データ:3-1-3.rvt)	
【3-1-4】ビューをシートに配置する (教材データ:3-1-4.rvt)	149
【3-2】断面図の作成	
【3-2-1】断面線の作成 (教材データ:3-2-1.rvt)	155
【3-2-2】断面図の作成 (教材データ:3-2-2.rvt)	158
4草 シート設定と図面の書き出し・読み込み	160
4 章 シート設定と図面の書き出し・読み込み	160
4 章 シート設定と図面の書き出し・読み込み	160 160
4 章 シート設定と図面の書き出し・読み込み 【4-1】DWG 形式への書き出し (教材データ:4-1.rvt) 【4-2】リンク読み込み (教材データ:なし※前回の続き) 5 章ファミリの作成について	160
4 章 シート設定と図面の書き出し・読み込み 【4-1】DWG 形式への書き出し (教材データ:4-1.rvt) 【4-2】リンク読み込み (教材データ:なし※前回の続き) 5 章ファミリの作成について 【5-1】ファミリとは	
4 章 シート設定と図面の書き出し・読み込み 【4-1】DWG 形式への書き出し (教材データ: 4-1.rvt) 【4-2】リンク読み込み (教材データ: なし※前回の続き) 5 章ファミリの作成について 【5-1】ファミリとは 【5-2】ファミリの新規作成	
 4 草 シート設定と図面の書き出し・読み込み	
 4章 シート設定と図面の書き出し・読み込み [4-1] DWG 形式への書き出し(教材データ:4-1.rvt)	
 4 草 シート設定と図面の書き出し、読み込み	
 4 草 シート設定と図面の書き出し・読み込み [4-1] DWG 形式への書き出し(教材データ:4-1.rvt)	
 4 草 シート設定と図面の書き出し、読み込み [4-1] DWG 形式への書き出し(教材データ:4-1.rvt)	
 4 草 シート設定と図面の書き出し、読み込み [4-1] DWG 形式への書き出し(数材データ:4-1.rvt)	

【5-4】参照面の作成	
【5-4-1】参照面を使用したソリッドモデルの作成	184
【5-4-2】寸法にラベルの設定をする	
【5-4-3】参照面に合わせて押し出しのモデルを作成する	
【5-4-4】パラメータを変更してモデルの大きさを変える	
【5-5】棚のソリッドモデルを作成する	
【5-5-1】幅方向の参照面と寸法の設定	
【5-5-2】奥行き方向の参照面と寸法の設定	
【5-5-3】高さ方向の参照面と寸法の設定	
【5-5-4】参照面に合わせたソリッドモデルの作成	
【5-5-5】ボイドフォームによるソリッドモデルの修正	
【5-5-6】仕切り板の作成	206
【5-6】ファミリをプロジェクトにロードして配置する	208
【5-6-1】作成したプロジェクトにファミリをロードする	
【5-6-2】配置したファミリのプロパティを変更する	
【5-7】ファミリにマテリアルの設定をする	210
【5-7-1】ファミリに設定するマテリアルの管理	210
【5-7-2】ファミリにマテリアルを設定する	212
【5-7-3】ファミリにマテリアルを設定する	212
【5-7-4】ファミリにマテリアルを設定する	213
【5-7-5】ペイントコマンドを使ってマテリアルの設定をする	217



上記の図と表示が違う場合は、切断ボッ クスをクリックし、上下や左右のハンド ルをドラッグして調整し、床の位置が見 えるように調整します。

(2)



※切断ボックスはサイコロのように上下・左 右・前後の6面をドラッグすることによって 断面位置を調整することができます。



3D ビューを回転したり切断ボックスの 範囲を調整したりして、図のように床の 高さが確認できる向きに整えます。



同じ向きで床の高さを確認することが できたら、左端住戸の全体が含まれるように切断ボックスの範囲を再度調整し ます。



【2-2-3】間仕切壁の作成 (教材データ: 2-2-3.rvt)

▶ 下書き線を使って壁を作成する

- プロジェクトブラウザで【1FL(1)】ビューに切り替えます。【建築】タブ>【構築】グループ> 【壁】コマンドをクリックします。
- プロパティパレットのタイプセレクタで【標準壁 一般-200 mm】を選択します。【タイプ編集】 から、【複製】をクリックし、名前を「標準壁 一般-100 mm」と入力し【OK】をクリックします。

10 3 階も同様に修正します。プロジェクトブラウザで【3FL(1)】に切り替えます。先ほどの手順と 同様に廊下の腰壁に開口部を作成します。



(1) プロジェクトブラウザで【3D】に切り替え、建物全体を 3D ビューで確認します。



【5-7-5】ペイントコマンドを使ってマテリアルの設定をする

3 つ目は修正タブの『ペイント』コマンドを使ってマテリアルを設定する方法です。 マテリアルブラウザで設定したマテリアルをオブジェクトに張り付ける事が出来ます。 プロパティからのマテリアルの設定をした場合、『棚』のファミリに対してマテリアルの設定をする為、 棚の外側の板と、内側に作成した仕切り板のマテリアルが同じ内容で設定されます。これは全部まとめて 『棚のファミリ』になる為です。

そこで『ペイント』コマンドを使用すると、バラバラのマテリアルを設定する事が出来ます。 ペイントでの設定は、『オブジェクトの面』ごとにマテリアルを設定する事が出来ます。今回の棚で内側 の仕切り板のマテリアルを設定したいと言う時に便利です。

 $\widehat{\mathbf{1}}$

) 修正タブの『ペイント』コマンドをクリックします。



マテリアルブラウザのウィンドウが表示されます。その中から設定したいマテリアルを選択します。今回はガラスを選択しています。 マテリアルを選択したら、設定したい面にカーソルを合わせてクリックしましょう。

これでマテリアルが設定されます。

